



テクニカル・メッセージ

エアドライヤーおよびエア系装置の定期点検整備のお願い

大型車用ブレーキ及びエア系装置にはゴム部品を使用しており、各装置のコントロールについてはエンジンと直結したエアコンプレッサで圧縮されたエアを利用しております。

そのため、各装置のゴム部品及びエアドライヤーに対し、定期点検整備が正しく実施されないと思われぬトラブルの原因となる可能性がありますので、確実な定期点検整備の実施をお願い致します。

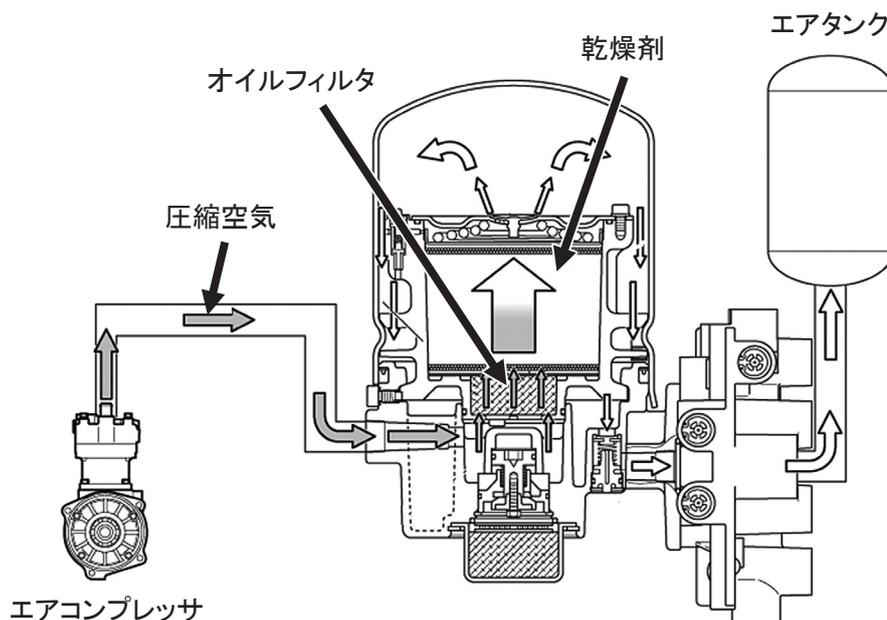
1. 対象車両

大型トラック(プロフィア) 大型バス(セレガ)



2. エアドライヤーの役割について

エンジンと直結したエアコンプレッサで空気を圧縮し各装置に送られます。この圧縮空気中には『水分』やエアコンプレッサの潤滑に使用している『油分』が含まれており、エアドライヤーはこの『水分』と『油分』を捕捉する重要な役割があります。

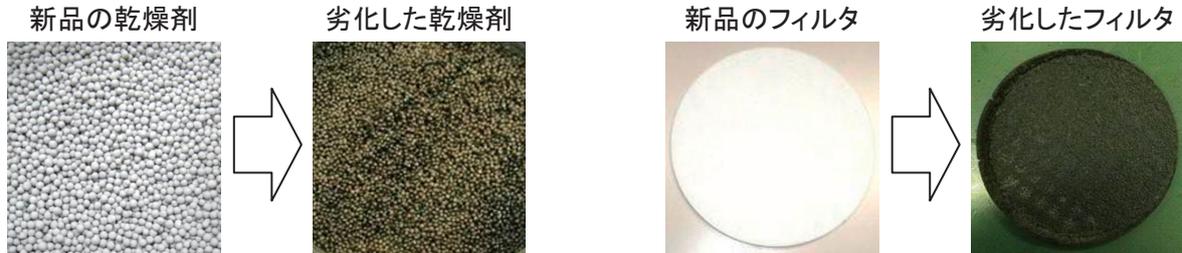


3. エアドライヤーの乾燥剤・フィルタを定期整備せずに使い続けると

エアドライヤーの乾燥剤およびフィルタを交換しないまま使用し続けると、エア経路に水分や油分が入り込み、**ブレーキ装置等の故障を引き起こすおそれがあります。**

＜故障の事例＞

- ・エア系 → バルブ等の機能不良およびエア洩れ
- ・ブレーキ系 → 引き摺り、急制動(カックンブレーキ)、ロックパーキングブレーキ解除不良
- ・駆動系 → トランスミッション変速不良、クラッチ切れ・接続不良



4. 日常点検・定期点検整備について

点検・交換時期	装置	点検交換・整備項目
日常点検	制動	エンジンをかけてエア圧が充てんされるとドライヤ下部のエキゾーストポートからエアが排出される事を確認してください。
3ヵ月毎 または 15,000Km点検	制動	エアドライヤーから排出される水をよく見ます。 普通の使用条件でも、エアタンクから水が出たり、エアドライヤーから異常にオイルが出るときは、最寄りの日野整備工場点検・整備を受けてください。
1年毎 交換	制動	エアドライヤの乾燥剤・フィルタ・ゴム部品は全て交換してください。
2年毎 交換	クラッチ	クラッチブースタのゴム、樹脂部品を交換してください。 (プロシフト16付車を除く) 電子制御フロアチェンジ変速機(プロシフト)オートクラッチユニットのゴム、樹脂部品を交換してください。(プロシフト16付車を除く)
	トランス ミッション	電気エア式変速機(FFシフト)シフトユニットのグリース、シール部品を交換してください。
4年毎 交換	トランス ミッション	電子制御フロアチェンジ変速機(プロシフト)シフト/セレクトユニットのゴム部品、および電磁弁を交換してください。 電気エア式変速機(FFシフト)シフトユニットの電磁弁を交換してください。
5年毎 交換	制動	電子制御ブレーキ(EBS)用バルブ類を交換してください。 ・ブレーキシグナルトランスミッタ ・プロポーショナルリレーバルブ ・バックアップバルブ ・アクスルモジュレータ ・トレーラコントロールバルブ

- ・詳細はメンテナンスノート、取扱説明書、整備解説書をご参照ください。
- ・メンテナンスノート等の内容について、ご不明な点がございましたら、最寄りの日野販売会社まで問い合わせください。